JG79A953H01

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機融雪用温水ヒートポンプユニット別売部品
防雪架台(高置台)　MSC-102KD
防雪架台(防雪板)　MSC-103KD

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

●この防雪架台には別売部品の
・バックアップヒーター(MSC-006HT)
・ヒーターフード(MSC-107HH)
・防雪架台用化粧パネル(正面用)(MSC-105DB)
・防雪架台用化粧パネル(側面用)(MSC-104DB)
を取付けることが出来ます。

●この据付工事説明書には、上記別売部品の据付方法についても記載されています。上記別売部品には、据付工事説明書は同梱されていませんのでこの据付工事説明書をなくさないようにご注意ください。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事前にこの据付工事説明書とヒートポンプユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

⚠警告

（誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの）

■**可燃性ガスが漏れるおそれのある場所への据付けは行わない。**
万一ガスが漏れてヒートポンプユニットの周囲にたまると、爆発の原因になります。

■**据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、ヒートポンプユニットの転倒によるケガの原因になります。

■**据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。**
ケガの原因になることがあります。

■**据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。**
据付けに不備があると、ヒートポンプユニットの転倒によるケガの原因になります。

■**据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度の不十分な所に据付けると、ヒートポンプユニットが落下し、ケガなどの原因になります。

■**据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
当社指定部品を使用しないと、ヒートポンプユニットの転倒によるケガの原因になります。

■**ヒートポンプユニットのサービスパネルを確実に取付ける。**
ヒートポンプユニットのサービスパネルの取付けに不備があると、水・ほこりなどにより、感電・火災の原因になります。

■**防雪架台は本体が水平になるように、据付ける。**
据付けに不備があると、ヒートポンプユニットの転倒によるケガの原因になります。

⚠注意

（誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの）

■**ヒートポンプユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない。**
ケガの原因になることがあります。

■**ヒートポンプユニットは、小動物のすみかになるような場所には据付けしない。**
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。また、お客さまに周囲をきれいに保つことをお願いしてください。

■**配管工事は、据付工事説明書に従って確実に行う。**
配管工事に不備があると、ヒートポンプユニットから水が滴下して家財などを濡らし、汚損の原因になることがあります。

■**組立の際は、必ず指定の締付トルクを守って作業をしてください。**
指定のトルクで締付けしないと破損の原因になります。

●指定締付トルク

品名	締付トルク
六角ボルト M8	30～35N･m
ワッシャー付き六角ボルト M6	10～15N･m
ドリル/タッピングネジ 4㎜	1.5～2N･m

■**防雪架台の下にものを置かない。**
ヒートポンプユニットのドレン水で汚損する場合があります。

使用部品

※1：ヒーターフード(MSC-107HH)、バックアップヒーター(MSC-006HT)設置時にご使用ください。
※2：防雪架台用化粧パネル(側面用)(MSC-104DB)、左右両方に取付ける場合は２セット必要です。
※3：防雪架台用化粧パネル(正面用)(MSC-105DB)、正面のみ取付け可能です。背面取付けは不可。
※4：高置台、防雪板以外の別売部品を使用しない場合は、この六角ボルトを不使用穴へ取付けてください。（防錆対策）

防雪架台（高置台）MSC-102KD

①架台 脚	4	⑧ベース	2
②安定座	4	⑨ワッシャー M8	8
③六角ボルト M8×16	40	⑩ナット M8	8
④枠（下）	1	⑪ワッシャー付き六角ボルト M6×25	4
⑤枠（上）	1	⑫ワッシャー M6	4
⑥筋交い(長)	2	⑬ナット M6	4
⑦筋交い(短)	2	⑭六角ボルト M8×16 ※4	27

防雪架台（防雪板）MSC-103KD

⑮ヘッダー取付板	1
⑯六角ボルト M8×16	19
⑰背面パネル	1
⑱側面パネル	1
⑲防雪架台用吹込防止カバー（正面用）	1
⑳シールテープ	1
㉑ヒサシ	1
㉒ドリルネジ 4×12	5

ヒーターフード※1 MSC-107HH

㉓固定板	1
㉔六角ボルト M8×16	4
㉕タッピングネジ 4×12	24
㉖下パネル	1
㉗ブッシュ	1
㉘上パネル	1
㉙側面パネル 右	1
㉚側面パネル 左	1
㉛ふた	1

防雪架台用化粧パネル（側面用）※2 MSC-104DB

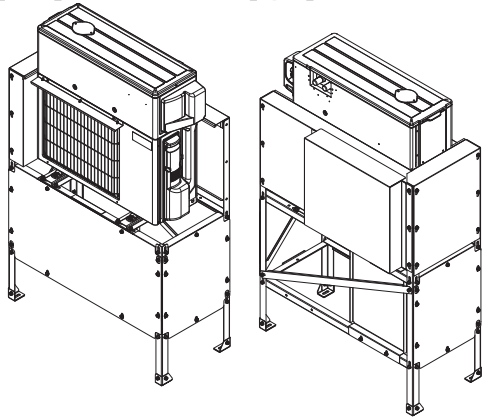
㉜防雪架台用化粧パネル（側面用）	1
㉝六角ボルト M8×16	6

防雪架台用化粧パネル（正面用）※3 MSC-105DB

㉞防雪架台用化粧パネル（正面用）	1
㉟六角ボルト M8×16	8

完成図

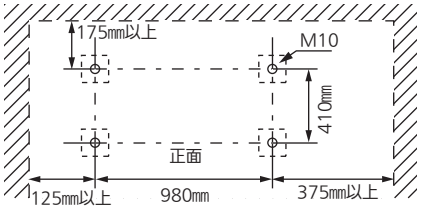
［正面］　［背面］



基礎工事

基礎工事は必ず下記条件を満たすように行ってください。
- コンクリート圧縮強度:18MPa以上
- アンカーボルト引き抜き力:5000N以上
- 地震時の転倒防止のため、アンカーボルト（現地手配）を使用して基礎の上に固定してください。**必ず４か所とも固定してください。**
- 本体が必ず水平になるように据付けてください。
- **前方及び天面は開放となるようにしてください。**

アンカーボルトピッチと据付必要空間 注）1



注)1 上図の据付必要空間の寸法はアンカーボルトからの数値です。

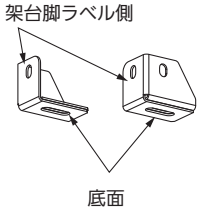
お願い	据付場所の設置寸法等については、ヒートポンプユニットの据付工事説明書をご確認ください。

❶ 高置台組立

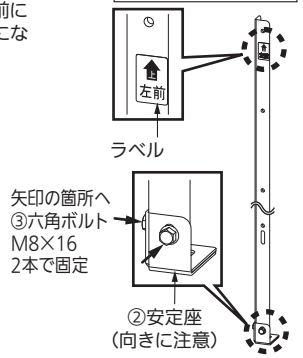
1. ①架台脚に②安定座を取付けます。(4本)

(1)①架台脚に貼られているラベル面を手前にしたときに②安定座の四角形側が手前になるように取付けます。

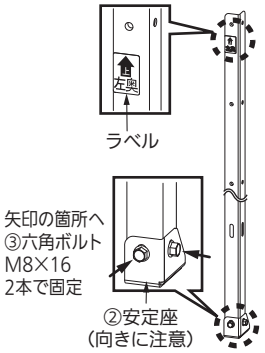
●②安定座には向きがあります。
取付け時に注意してください。



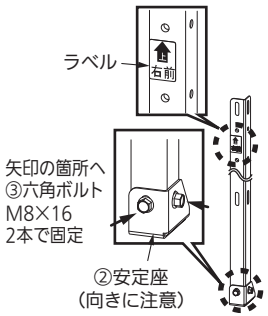
①架台脚（左前用）



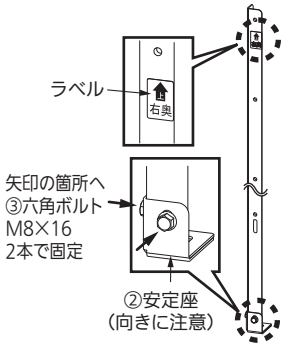
①架台脚（左奥用）



①架台脚（右前用）



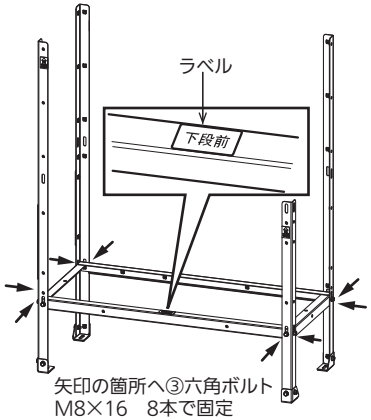
①架台脚（右奥用）



❶ 高置台組立 つづき

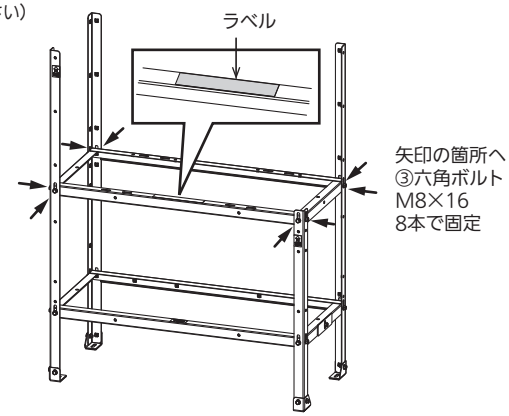
2. ①架台脚を④枠（下）に取付けます。

④枠（下）に貼られている「下段前」というラベル面を手前上向きになるように取付けます。



3. ⑤枠（上）を取付けます。

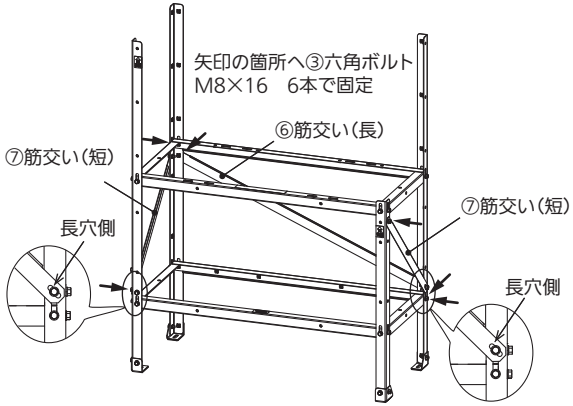
⑤枠（上）に貼られているラベル面を手前上向きになるように取付けます。
※この状態で②安定座の穴がアンカーボルトと合っているか確認してください。
（ずれている場合は②安定座の向きをアンカーボルトに合うように変更してください）



4. ⑥筋交い（長）と⑦筋交い（短）を取付けます。

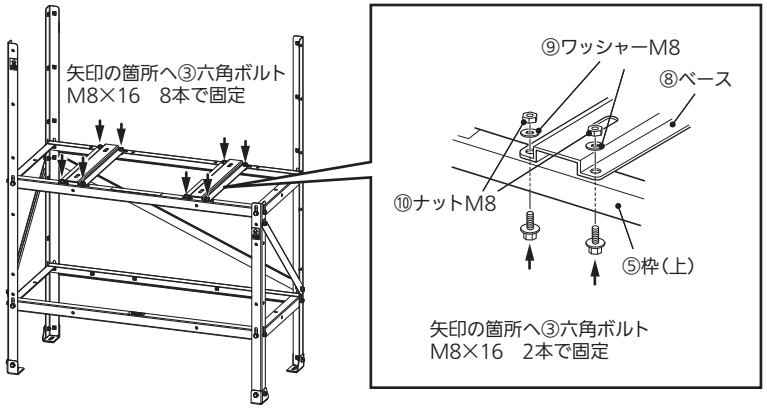
●長穴側が下になるように取付けます。
※手前側の⑥筋交い（長）は配管・配線の作業性を上げるため後で取付けます。

お願い	ネジを指定トルクで締める前に、架台脚が基礎に対して垂直に組立てられているか確認してください。 また、枠（上）（下）が水平に組立てられているか確認してください。



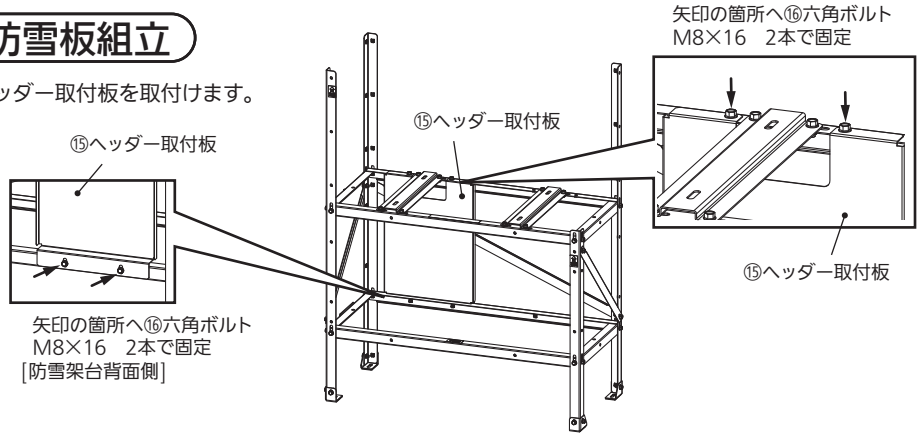
5. ⑧ベースを仮取付けします。

●⑧ベースを③六角ボルトM8×16＋⑨ワッシャーM8＋⑩ナットM8で⑤枠（上）に取付けます。
※⑧ベースはヒートポンプユニット据付時に位置調整をするので仮止めにしておきます。



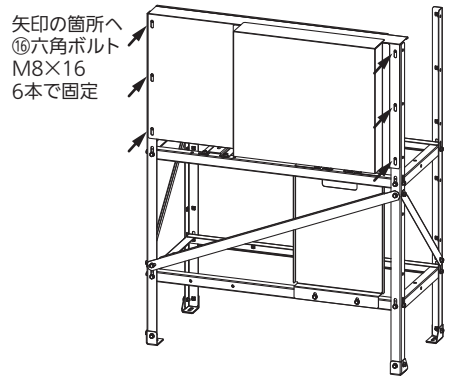
❷ 防雪板組立

1. ⑮ヘッダー取付板を取付けます。

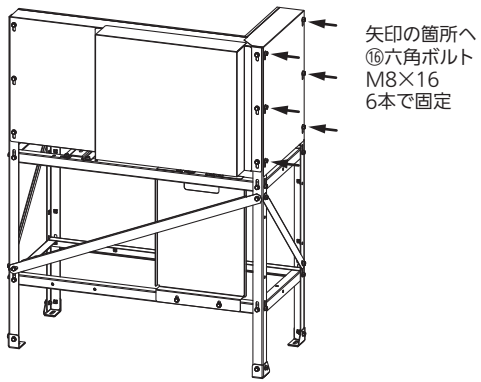


お願い	ヘッダー取付板取付後に、ヘッダー固定用金具（現地手配）等を用いて、ヘッダーを固定してください。

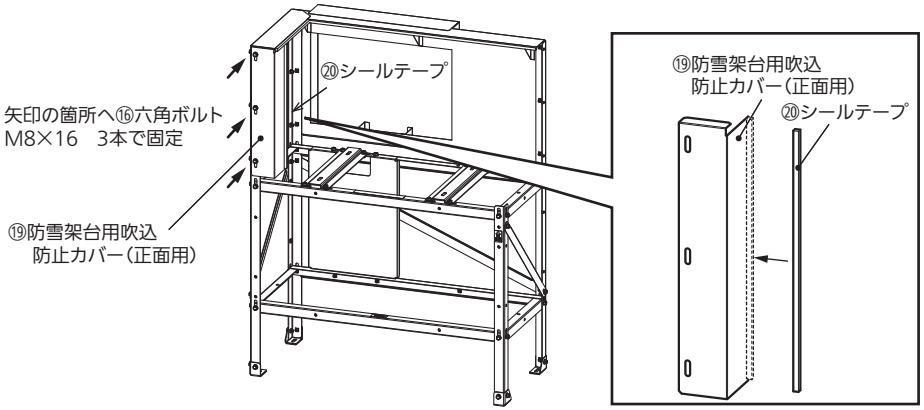
2. ⑰背面パネルを取付けます。



3. ⑱側面パネルを取付けます。



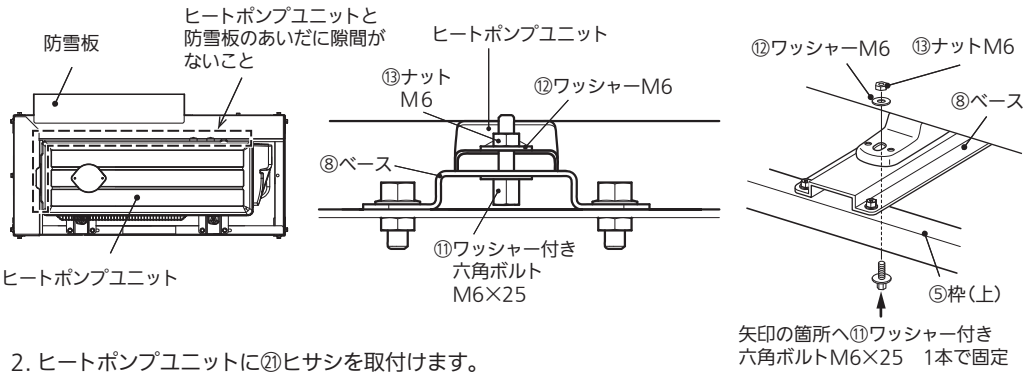
4. ⑲防雪架台用吹込防止カバー（正面用）と⑳シールテープを取付けます。



❸ヒートポンプユニットの取付け

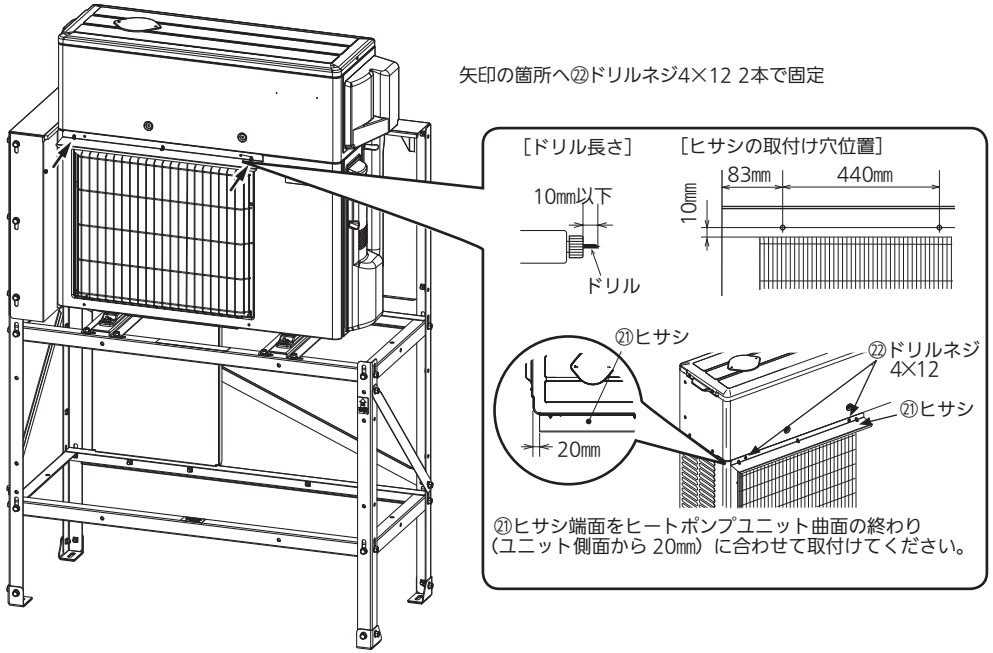
1. ヒートポンプユニットを架台に固定します。

(1) 防雪板とヒートポンプユニットのあいだに隙間が出来ないように⑧ベースの位置を決めます。
(2) ヒートポンプユニットの脚〔前2か所、背面2か所〕を⑧ベースの穴に⑪ワッシャー付き六角ボルトM6×25と⑫ワッシャーM6、⑬ナットM6で固定します。
　※ ヒートポンプユニットの脚は４つとも確実に固定してください。
(3) 仮止めしていた⑧ベースを指定トルクで締付けます。



2. ヒートポンプユニットに㉑ヒサシを取付けます。

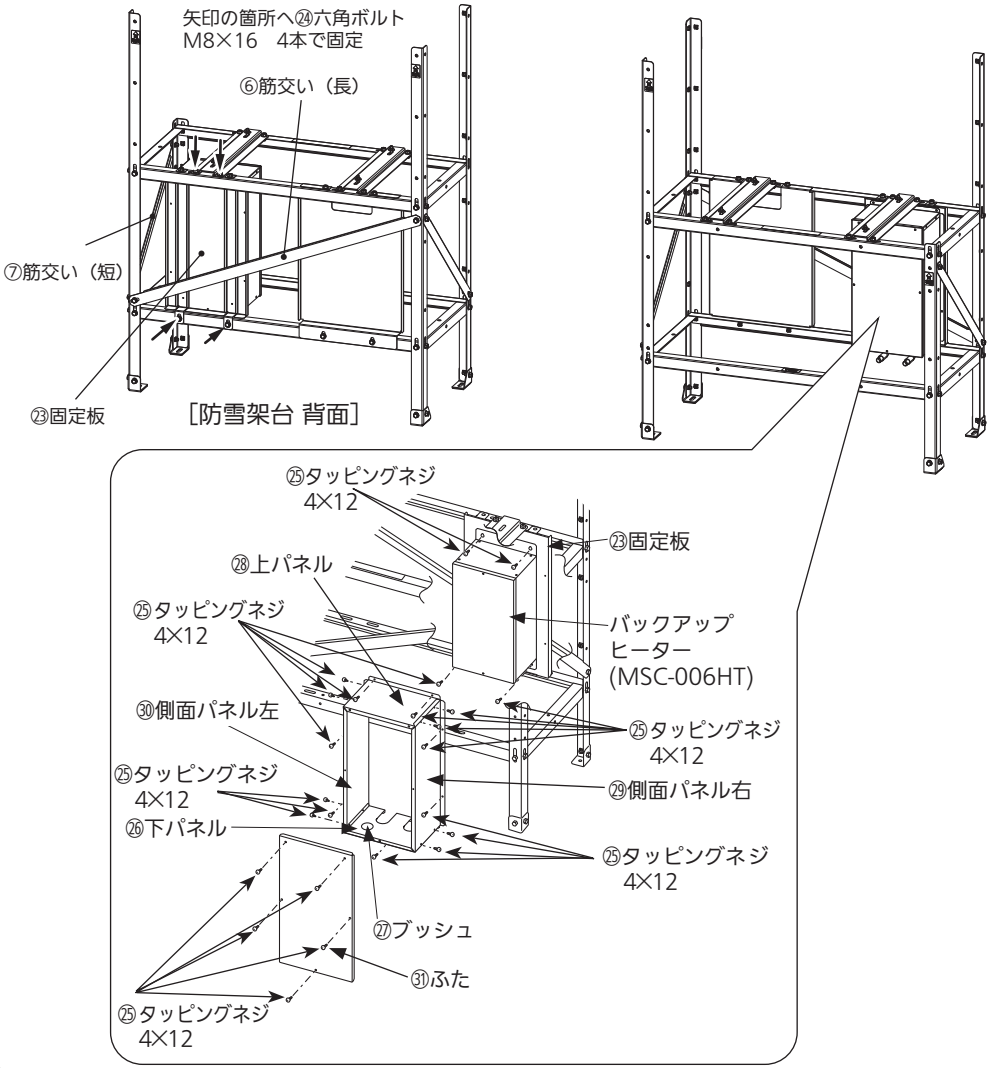
(1) ヒートポンプユニットの準備
　• 直径が1～2㎜のドリルで下図の位置に穴を2か所あけます。
　（ドリルの先端が長すぎるとユニット内部の部品をキズつけるおそれがあります）
(2) ㉑ヒサシの固定
　㉑ヒサシの左端面がヒートポンプユニット左曲面の終わり（ユニット側面から20㎜）になるように
　ヒートポンプユニットの吹き出し口上側に㉑ヒサシを㉒ドリルネジ4×12で固定します。



④ヒーターフード【別売部品】の取付け

●バックアップヒーター(MSC-006HT)をご使用の際は必ずこのヒーターフード(MSC-107HH)を使って防雪架台に取付けてください。

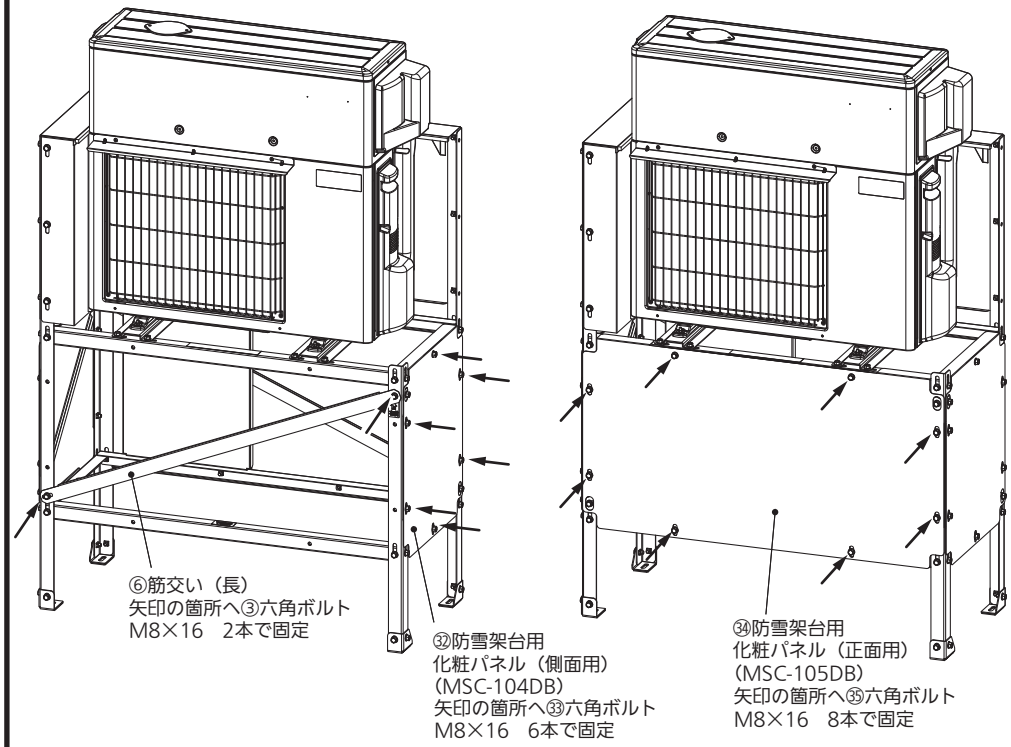
1. 防雪架台背面に㉓固定板を㉔六角ボルトM8×16で架台に固定してください。
2. ㉓固定板に㉕タッピングネジ4×12でバックアップヒーター(MSC-006HT)をネジ止めします。
3. バックアップヒーター(MSC-006HT)の配管接続工事を行います。詳しくはバックアップヒーター (MSC-006HT)に同梱されている据付工事説明書に従って配管工事を行ってください。
4. ㉖下パネルに㉗ブッシュを取付けます。
5. ㉘上パネル、㉙側面パネル右、㉚側面パネル左、㉖下パネルを㉕タッピングネジ4×12で組み立て、㉓固定板に㉕タッピング ネジ4×12で固定します。
6. バックアップヒーター(MSC-006HT)の電気配線を行います。詳しくはバックアップヒーター(MSC-006HT)に同梱されている据付工事説明書に従って配線工事を行ってください。
7. ㉛ふたを㉕タッピングネジ4×12で固定します。



⑤防雪架台用化粧パネル（正面用）（側面用）【別売部品】の取付け

※㉜防雪架台用化粧パネル(側面用)(MSC-104DB)は左右両方に取付ける場合には２セット必要です。
㉞防雪架台用化粧パネル(正面用)(MSC-105DB)は防雪架台背面に取付けることはできません。

1. 手前側の⑥筋交い(長)を取付けます。
2. ㉜防雪架台用化粧パネル(側面用)(MSC-104DB)を取付けます。
3. ㉞防雪架台用化粧パネル(正面用)(MSC-105DB)を取付けます。



⑥取付け後の確認

1. 防雪架台のボルトが指定の締付トルクで締結されていることを確認してください。
2. ②安定座がアンカーボルトで基礎に固定されていることを確認してください。
3. 防雪架台およびヒートポンプユニットにがたつきがないことを確認してください。
4. 高置台、防雪板以外の別売部品を使用しない場合は、⑭六角ボルトM8×16を不使用穴へ取付けてあることを確認してください。（防錆対策）

三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1